

老後の収入と支出から 将来必要な備えの目安を確認しよう

まずは老後の収入と支出を予想して、老後に不足するお金の総額を算出します。
そのうえで退職時に手元にあるお金で補填しきれない、備えが必要な金額を計算しましょう。

●退職後の収入／月

	本人	配偶者	単身者の場合
公的年金	円	円	円
企業年金	円	円	円
個人年金保険	円	円	円
その他の収入	円	円	円
計	円	円	円
合計			円 (A)

●退職後の支出

毎月の支出		年間の特別支出	
基本生活費	円	年払い保険料	円
住居関連費	円	自動車保険料	円
車両費	円	所得税	円
娯楽費	円	住民税	円
社会保険料	円	固定資産税	円
保険料	円	その他()	円
その他支出	円	合計	円 (C)
合計	円 (B)		

$$\begin{array}{|c|} \hline (A) \text{ 毎月の収入} \\ \times 12 \text{ ヵ月} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 - \left[\begin{array}{|c|} \hline (B) \text{ 毎月の支出} \\ \times 12 \text{ ヵ月} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 + \begin{array}{|c|} \hline (C) \text{ 年間の} \\ \text{特別支出} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array} \right]
 = \begin{array}{|c|} \hline (D) \text{ 1年間に} \\ \text{不足するお金} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline (D) \text{ 1年間に} \\ \text{不足するお金} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 \times \begin{array}{|c|} \hline \text{必要期間} \\ \hline \text{年} \\ \hline \end{array}
 + \begin{array}{|c|} \hline \text{イベント費} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 = \begin{array}{|c|} \hline (E) \text{ 老後に} \\ \text{必要なお金} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{退職時に手元に} \\ \text{用意できるお金} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 - \begin{array}{|c|} \hline (E) \text{ 老後に} \\ \text{必要なお金} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}
 = \begin{array}{|c|} \hline \text{過不足} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}$$